

第2回 新潟市立夜間中学設置基本計画策定に関する有識者会議 会議録【概要】

1 日時：令和7年8月4日（月曜）午後2時30分から午後4時

2 会場：ふるまち庁舎4階 教育会議室1（401会議室）

3 出席者

【委員】雲尾座長、池田委員、伊藤委員、郷委員、田中委員、布川委員、（八百板委員欠席）

【オブザーバー】新潟県教育庁義務教育課中村参事、五十嵐指導主事

【事務局】山本教育次長、加藤教育総務課長、田中室長、大野係長

4 協議項目

（1）新潟市が設置する公立夜間中学の在り方（案）について（事務局より提案）

- ① 新潟市立夜間中学が目指す姿
- ② 目指す姿を実現するために必要な学校づくりの視点

（2）新潟市が設置する公立夜間中学の枠組み（案）について（事務局より提案）

- ① 設置候補場所
- ② 設置予定時期
- ③ 設置形態
- ④ 学校規模
- ⑤ 入学対象者
- ⑥ 入学時期
- ⑦ 入学学年
- ⑧ 修業年限
- ⑨ 休学

5 事務局案に対する主な意見（概要）

（1）設置場所について

- 明鏡高校内に設置することにより、卒業後に高校進学を希望する生徒にとって高校生活がイメージしやすい。また、就職指導面において高校のノウハウを活用でき、メリットが大きい。
- 沼垂地域は学校に協力的な地域なので、一層、地域との連携を進めてほしい。

（2）進級や卒業の判断基準について

- 年齢、国籍、学習状況等が一人一人異なる状況における卒業や進級の判断基準について、丁寧な検討が必要。
- 同じ学年に留め置く場合の考え方について、事前に整理が必要。

6 協議項目以外の事柄に関する主な意見

- 小学校未修了者に対する学習指導のあり方について、検討が必要。
- 進路指導や特別支援教育の充実を図っていくことが必要。
- 福祉に関する専門機関や医療機関につなげるためのしくみづくりや職員配置が必要。
- 夜間中学に関する情報を必要な方に届けるための方策を検討してほしい。
- 不登校の学齢生徒への対応について、引き続き検討してほしい。